

教科名	国語	科目名	国語a	履修学年	中学・高校	1年	A～E	組	
単位数	2	使用教科書 補助教材等	『国語1』『光村の国語ワークI』（光村図書）						
担当者	栗原 緑 横田 美月		東京電機大学中学校 中1 国語問題集 セレクト 漢字検定（桐原書店）						
学習目標	社会生活に必要な国語について、物語や説明文、詩の鑑賞を通して、その特質を理解し適切に使うことができるようになる。国語学習を通じて、伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。また、我が国の言語文化に関わり、言葉のもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにすることを目指す。								
評価方法									
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む姿勢			
評価規準	社会生活に必要な言葉の知識や技能を身に付けるとともに、情報の取り扱い方や関係性に着目し、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。		「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、筋道を立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で表現を工夫しながら伝え合い、自分の思いや考えを確かなものにしていく。			各単元における知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を振り返りつつ、試行錯誤しながら課題や活動に取り組むとともに、進んで学習しようとしている。			
各観点の授業内 評価方法等	定期考査、小テスト		定期考査、課題			振り返りシート グループディスカッション プレゼンテーション 授業態度			
学期末の 各観点比率(%)	40		40			20			
授業計画									
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間数	評価区分1	評価区分2
1	4	・ 校歌→論理的な読み方 ・ 説明文「ダイコンは大きな根？」稲垣栄洋→構造分析（問いと答え）・指示語 ・ 物語「シンシュン」西 加奈子→場面ごとの心情把握・物語の分析（視点、構造）					2 3 3	1 学期 中間 考査	第1回 到達 度 確認 テスト
	5								
	6	・ 説明文「ちょっと立ち止まって」桑原茂夫→具体と抽象 ・ 物語文「星の花が降るころに」安東みきえ→場面ごとの心情把握・物語の分析（人物、象徴） ・ 情報を集めよう・情報を読み取ろう							
	7								
	8	・ 第一回到達度確認テスト							
2	9	・ 物語文「大人になれなかった弟たちに…」米倉斉加年→物語の分析（視点、表現）・解釈 ・ 鑑賞文・説明文「比喩で広がる言葉の世界」森山卓郎→接続語・比喩表現 ・ 話の構成を工夫しよう					4 4 2	2 学期 中間 考査	第2回 到達 度 確認 テスト
	10								
	11	・ 「「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ」鈴木俊貴→構造分析（順序） ・ 説明文「幻の魚は生きていた」鎌田實→以下既習事項を用いた読解 ・ 物語文「坊ちゃん」夏目漱石							
	12								
3	1	・ 第二回到達度確認テスト ・ 物語文「少年の日の思い出」ヘルマン・ヘッセ					1 5	学 年 末 考 査	
	2	・ 説明文「『不便』の価値を見つめなおす」川上浩司							
	3								

教科名	国語	科目名	国語b	履修学年	中学・高校	1年	全	組	
単位数	2	使用教科書 補助教材等	スパッと攻略！国語文法(光村教育図書)/中学書写一・二・三年(光村図書)						
担当者	山本宏樹 荒井道知		国語1(光村図書)/光村の国語のワーク1(光村教育図書)						
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 口語文法を習得し、その知識を生かしてあらゆる言語活動に役立てられるようにする。 古典の学習の基礎(歴史的仮名遣い・基本的な語彙等)を習得し、中2以降の学習の導入となるようにする。 基本的な毛筆書写(楷書)の方法を習得させる。 								
評価方法									
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む姿勢				
評価規準	社会生活に必要な言葉の知識や技能を身に付けるとともに、情報の取り扱い方や関係性に着目し、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。		「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、筋道を立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で表現を工夫しながら伝え合い、自分の思いや考えを確かなものにしていく。		各単元における知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を振り返りつつ、試行錯誤しながら課題や活動に取り組むとともに、進んで学習しようとしている。				
各観点の授業内 評価方法等	定期考査 小テスト		定期考査 課題 授業内活動の様子		課題の提出状況 授業内の発言				
学期末の 各観点比率(%)	50		30		20				
授業計画									
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間数	評価区分1	評価区分2
1	4	オリエンテーション(持ち物の話など) 文法…言葉の単位(文・文節・単語が中心) 文の組み立て①(文節の係り受け・主語・述語・修飾語・接続語・独立語)					1 3 6	1 学期 中間 考査	第1回到達度確認テスト
	5								
	6	文法…文の組み立て②(並立の関係・補助の関係・文の成分) 自立語と付属語・活用の有無					4 4	1 学期 期末 考査	
	7	書写(楷書・全国書画展覧会に向けて)					2		
2	8								
	9	書写(楷書・全国書画展覧会に向けて) 文法…名詞(以降、品詞の学習に入る(自立語中心)) 古典…竹取物語(本文の暗誦、作者や時代背景について、歴史的仮名遣い等)					1 2 5	2 学期 中間 考査	第2回到達度確認テスト
	10	文法…動詞(活用形について・活用表の書き方・五種類の活用・活用の種類の見分け方等) 形容詞・形容動詞・用言の識別					6 4	2 学期 期末 考査	
	11								
12	用言の活用の復習					3			
3	1	文法…副詞・連体詞・接続詞・感動詞 古典…矛盾(故事成語) 用言の活用小テスト(授業冒頭の10～15分)					6 4	学 年 末 考 査	
	2								
	3								
合計時間55時間(定期考査含む) + α									